

諮問第 8 4 号

兵庫県職業能力開発審議会

兵庫県職業能力開発計画について（諮問）

人口減少と少子化・高齢化が進展するなか、若者、女性、高齢者、障害者をはじめ県民一人ひとりが自らの希望や適性を生かし、多様で安定的な就業・就職を実現することが求められています。そのためには、それぞれが持てる能力を最大限に発揮できるよう、多様できめ細かな職業能力開発機会を提供することが重要です。

また、本県の産業構造の変化に対応した求職者等の雇用・就業支援や産業界、地域の人材ニーズへの対応、企業在職者の技能向上や熟練技能の維持継承への取組などが重要な課題となっています。

こうした取組により、地域の産業・雇用の持続的な発展と兵庫の地域創生をめざさなければなりません。

こうした状況に対応するため、第 10 次兵庫県職業能力開発計画を作成するにあたり、次の課題を中心に、職業能力開発施策のあり方について、意見を求めます。

〈主な課題〉

- 1 多様できめ細かな職業能力開発の推進による若者・女性・高齢者・障害者など多様な人材の育成
- 2 非正規雇用労働者の正規雇用化対策の推進
- 3 次世代産業や地域産業の担い手育成など産業界や地域における人材ニーズへの対応
- 4 技能者の社会的地位の向上や技能継承への支援など技能振興の推進
- 5 上記の課題の解決につながる公共職業能力開発施設における取組の充実

平成 2 7 年 1 1 月 2 日

兵庫県知事 井 戸 敏 三